

TOPICS

消防団に多機能型消防車



財団法人日本消防協会から大野城市消防団に対し、消防団多機能型車両が交付されました。

多機能型車両は、消火活動に必要な消防ポンプ、消防ホースなどに加えて、AED（自動体外式除動器）などの救急機材や、救助活動に必要なチェーンソー、エンジンカッターなどを備えています。

この車両は第三分団に配備され、風水害・大地震などの災害現場で救助活動に当たるときも、より一層の機動力の向上が期待されます。

親子3世代ふれあう



1月24日(日)、大野東小学校で地域の皆さんと子どもたちが遊びや食の体験、クラブの発表などを通して親子3世代のふれあいを深める「東っ子まつり」が開かれました。

教室や体育館では、地域の皆さんの協力を得てバザーや折り紙、こま回し、輪まわし、お手玉、輪投げ、紙鉄砲などの遊びやお茶クラブの野点体験、オカリナや空手クラブの発表、中学校の吹奏楽の演奏などが行われました。6年生は、下級生をリードしながら体験会場を回っていました。

地域の安全は地域から



1月15日(金)、月の浦区の積極的なパトロール活動により、街頭犯罪を抑制した功績が認められ、筑紫野警察署長から月の浦防犯パトロール隊に感謝状が贈呈されました。

月の浦区では、地域の安全は地域で守っていくという強い意識のもと、防犯パトロールが行われています。また、誰もが簡単に防犯活動に参加できる「一戸一灯ホット運動」にも取り組んでいます。これは、夜間に門灯や玄関灯を点灯することで暗がりなくし、犯罪を起しにくい環境を作るためのものです。市民一人一人が力をあわせ、地域を守り、安全で安心の街づくりを行いましょ。

「はい、大野城市役所コールセンターです。」市役所の代表電話（☎501 2211）に電話をかけると、この明るい声が耳元に飛び込んできます。コールセンターを設置して2年が過ぎ、最初は「えっ？コールセンター？」と違和感があったかと思いますが、今ではすっかり定着してきたようです。

このコールセンターは、市役所への『よくある質問』にお答えすることが出来ます。例えば、「ごみ分別の方法」や「印鑑証明の発行手続き」などの質問なら、担当課ではなくコールセンターがその場で回答します。

コールセンターのオペレーターはいろいろな質問に答えているだけあって、知識が豊富で、職員が逆に教わることもしばしばです。

皆様も、気軽にコールセンターをご利用ください。午前8時から午後9時まで、365日年中無休でお電話をお待ちしております。なお、『よくある質問と回答』は市ホームページで公開していますので、こちらもご利用ください。

幸

大文字

